

発行所

株式会社FPシミュレーション 大阪市中央区備後町2-4-6 Tel :06-6209-7678
編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

⇩ 平成19年民間給与の実態調査

Q : 平成19年度の民間給与の実態調査が公表されたそうですが、どのような内容だったのですか？

A : 給与総額は9年ぶり、平均給与は10年ぶりに増加になっています。

【解説】

国税庁は、このほど、平成19年分の民間給与の実態調査結果を公表しました。

それによりますと、1年を通じて勤務した給与所得者数は4,543万人で、2年ぶりに増加(58万人増)しており、その内訳は男性が2,782万人(37万人増)、女性が1,761万人(21万人増)でした。

また、平均給与は437万円で、内訳は給料・手当が369万円(0.9万円増)で、賞与が69万円(1.5万円増)となっています。

また、男女別の平均給与では、男性が542万円(3.5万円増)で、女性が271万円(0.2万円増)となっています。

給与所得者の平均年齢は44.1歳(男性44.2歳、女性43.9歳)となっており、平均勤続年数は11.6年(男性13.1年、女性9.3年)となっています。

なお、平成19年に民間企業が支払った給与の総額は、201兆2,722億円で昨対1兆2,376億円(0.6%)増加しています。

また、源泉徴収された所得税額は8兆9,965億円で、前年より9,356億円(▲9.4%)減少しており、給与総額に占める税額の割合は4.47%となっています。

